

13 能代の街を飛砂から守る海岸防災林造成事業（風の松原）

秋田県（能代市）



荒廃状況（昭和33年）

施工中（昭和36年）

現在の状況



上空から見た風の松原

○所在場所

秋田県能代市後谷地国有林ほか

○施設・工法の概要

海岸防災林造成（国有林342ha、民有林418ha）、
補植、保育等

○解説

藩政時代から守られてきた能代の海岸林は、明治時代の製塩の燃料やハマナスの掘取りなどにより、クロマツ林が衰退し、飛砂が人家を埋めるほどになっていました。

大正10年より国有林で植栽を開始し、海岸防災林の造成を行ってきました。現在では能代市民の生命財産を守る海岸防災林として防風・飛砂防止などの重要な役割を果たしている森林となっています。

また、昭和58年の日本海中部地震の際、津波の威力を減衰する効果を発揮したことにより、津波被害の軽減機能も評価されています。

問い合わせ先：東北森林管理局治山課 TEL：018-836-2260
秋田県森林整備課 TEL：018-860-1944